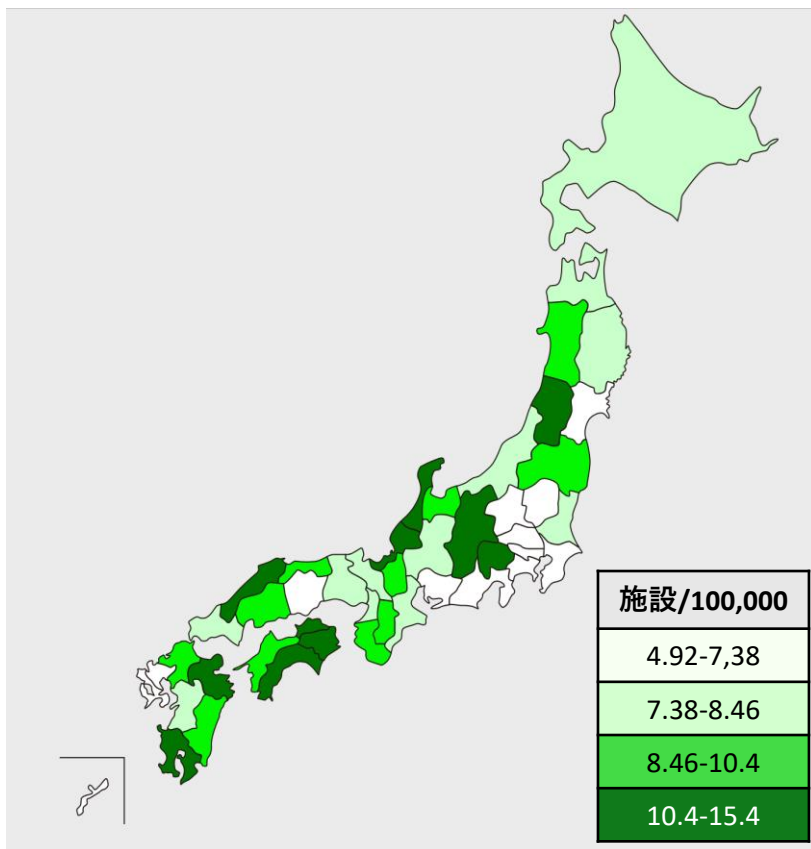


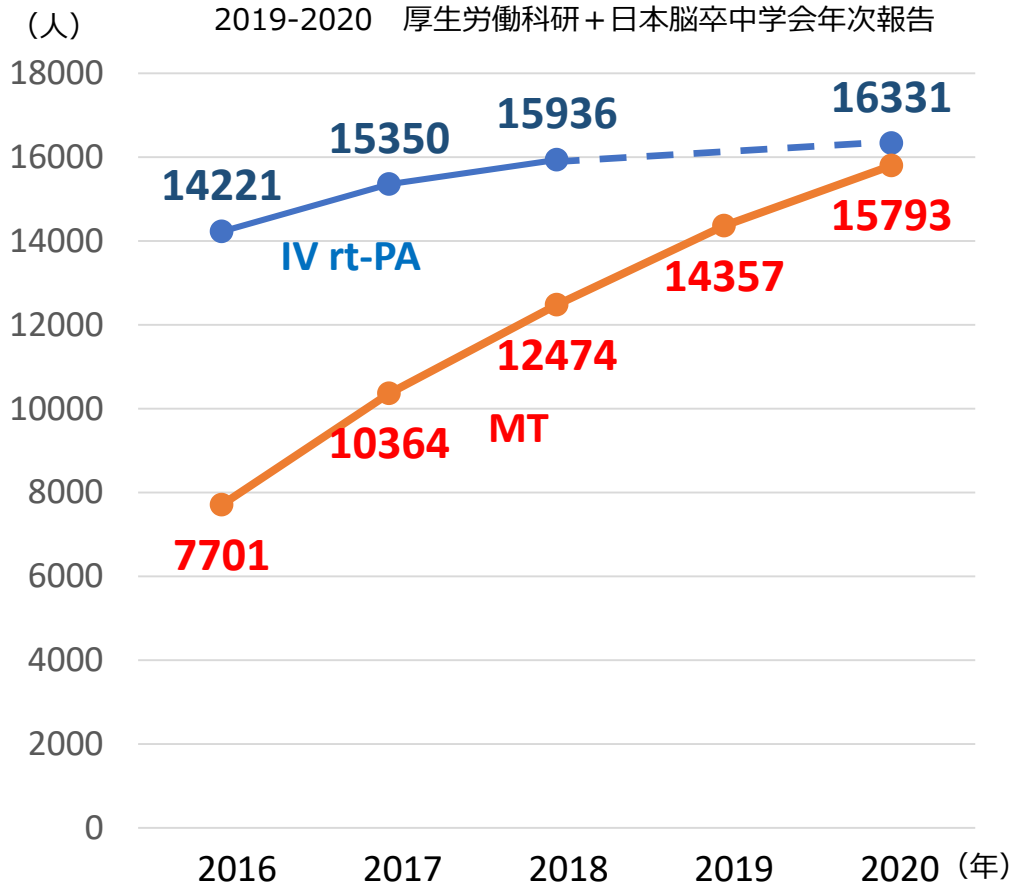
厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
 「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」
 研究代表者 坂井信幸（神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科）

一次脳卒中センター
 963施設（2021年）



アルテプラーゼ静注療法(IV rt-PA)、
 機械的血栓回収療法(MT)年次推移

調査施設数 1,458
 2016-2018 厚生労働科研+RESCUE JAPAN
 2019-2020 厚生労働科研+日本脳卒中学会年次報告



厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
 「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」

COVID-19の急性期脳卒中診療への影響調査

- 医療機関の機能制限について
- 3大病型と血行再建術の月別実績、2019年との比較

診療実績：発症7日以内の急性期脳卒中について入院数（脳卒中・脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）および治療数（IV-tPA、MT）を月毎に件数をご記入をお願いします。Covid-19は施設全体の入院患者数です

診療体制への影響の有無を概算・印象で（A=通常通り、B=軽度（70-99%に制限）、C=中等（同30-69%）、D=重大（同1-29%）、E=停止をお願いします

		脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	IV-tPA	血栓回収療法	COVID19入院数（施設全体）	一般外来	脳卒中救急入院	予定手術	緊急手術	予定血管造影/血管内治療	緊急血管造影/血管内治療
2019年	1月												
	2月												
	3月												
	4月												
	5月												
	6月												
	7月												
	8月												
	9月												
	10月												
	11月												
	12月												
2020年	1月												
	2月												
	3月												
	4月												
	5月												
	6月												
	7月												
	8月												
	9月												
	10月												
	11月												
	12月												
2021年	1月												
	2月												
	3月												
	4月												
	5月												
	6月												
	7月												
	8月												
	9月												
	10月												
	11月												
	12月												
2022年	1月												
	2月												
	3月												

PSCへ回答依頼

2020年

576/974 (59.1%) から
延べ983回の回答

2021年

543/961 (56.5%) から
延べ992回の回答

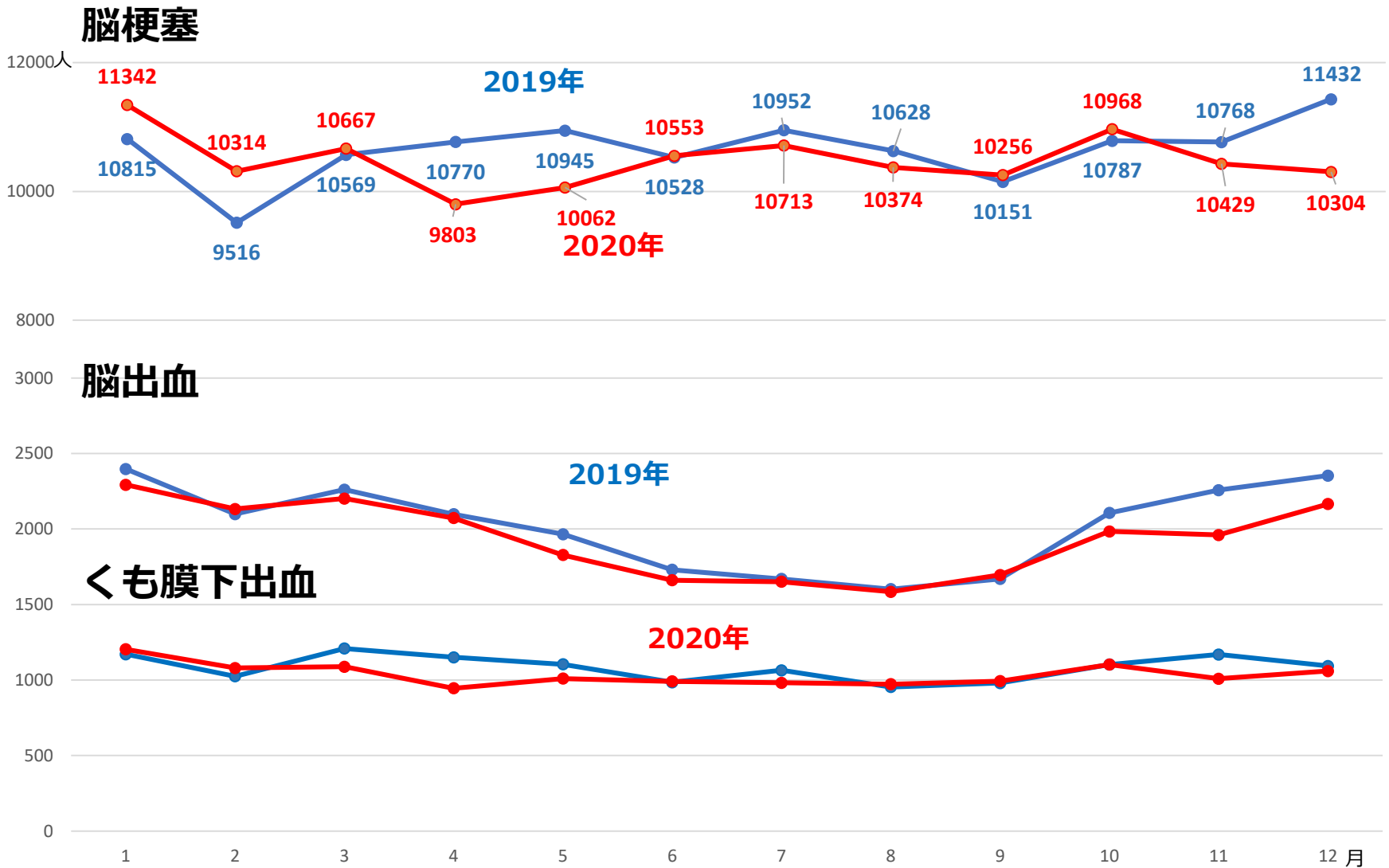
結果 1

医療機関の機能制限について

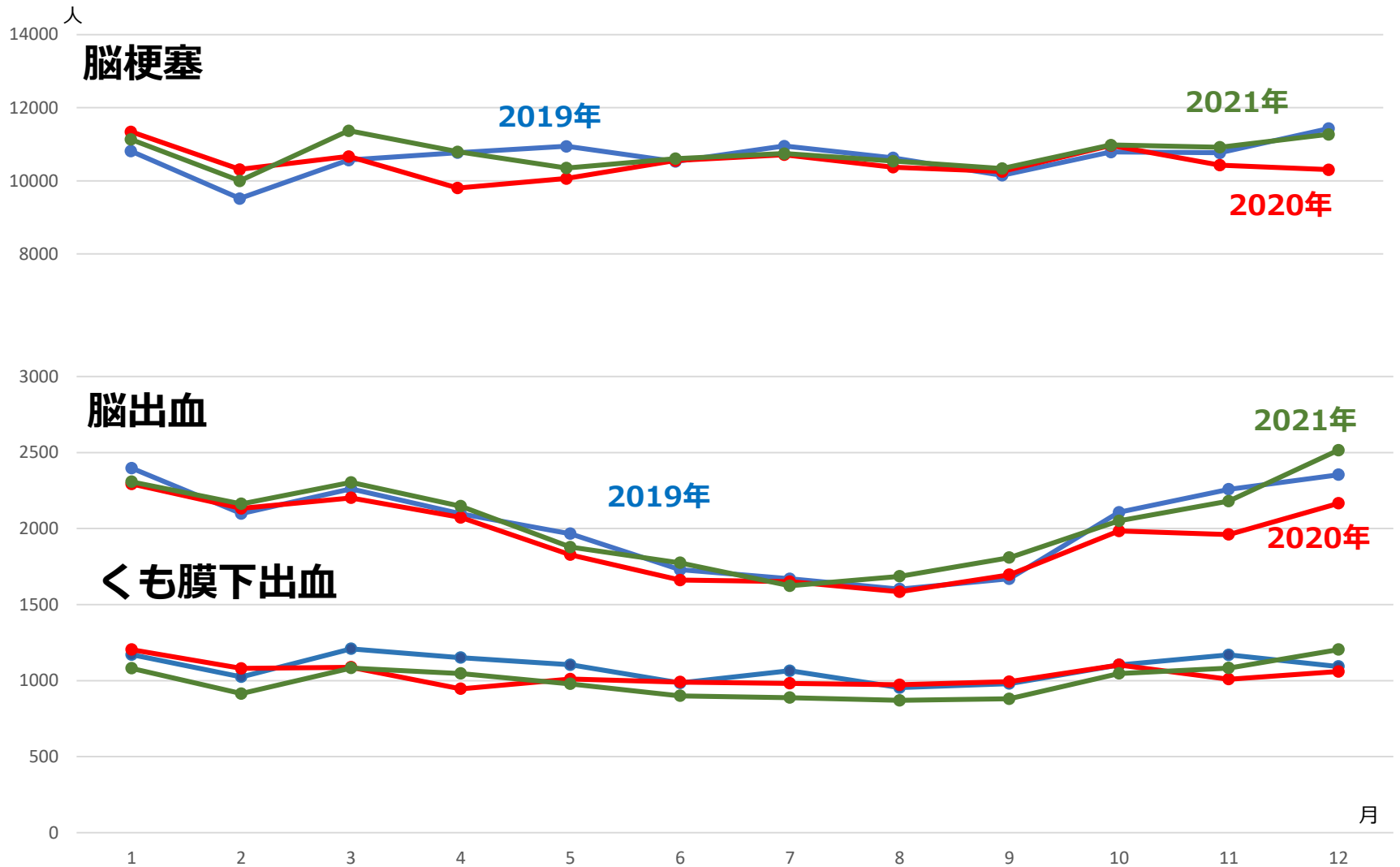
結果 2

3大病型と血行再建術の月別実績、
2019年との比較

COVID-19の急性期脳卒中診療への影響：3大病型の月別実績



COVID-19の急性期脳卒中診療への影響：3大病型の月別実績



2020年の脳卒中診療規模(2019年) と脳卒中入院患者数の比較

脳卒中センター(2019年)	n	2019	2020	% change (95%CI)	p
小規模PSC	180	28079	27554	-1.87% (-2.01 ~ -1.72)	0.079
中規模PSC	182	53735	52922	-1.51% (-1.62 ~ -1.41)	0.14
大規模PSC	180	100846	97607	-3.21% (-3.22 ~ -3.10)	0.0001

- 全国530のPSCの急性期脳卒中(脳梗塞+脳出血+くも膜下出血)の入院患者数を、小規模 (231以下)、中規模 (232-378)、大規模 (379以上) に分類した。
- 大規模施設では、2020年に有意に脳卒中入院数が減少していた。

2020年の感染拡大期と感染安定期の脳卒中入院患者数の比較 (対2019年)

感染拡大期 (3-5月、7-8月、11-12月)、感染安定期 (1-2月、6月、9-10月)

2020年脳卒中入院患者数 (対2019年)	感染拡大期	感染安定期
全体 (n=530)	-4.27±20.7%	4.97±20.7%
感染者数2300/人口100万人未満 (n=405)	-3.07±21.3%	5.97±28.4%
感染者数2300/人口100万人以上 :北海道,東京,神奈川,大阪,沖縄 (n=125)	-8.15±17.9%	1.72±19.6%

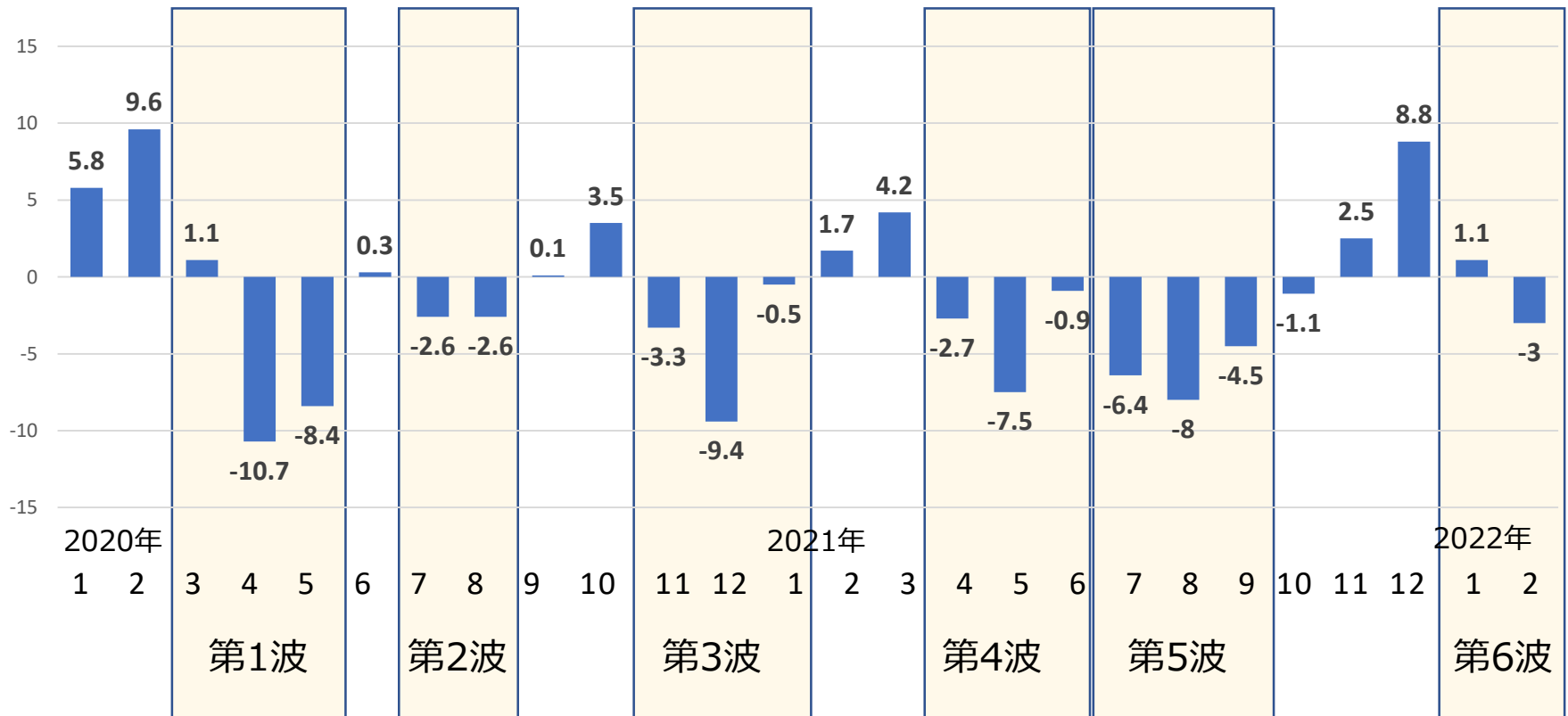
P<0.001 (拡大期 vs 安定期, 全体)
 P<0.001 (拡大期 vs 安定期, 感染者数2300/人口100万人未満)
 P=0.009 (拡大期 vs 安定期, 感染者数2300/人口100万人以上)
 P<0.001 (拡大期 vs 安定期, 感染者数2300/人口100万人以上)
 P=0.06 (拡大期 vs 安定期, 感染者数2300/人口100万人以上)

- 全国530のPSCの急性期脳卒中(脳梗塞+脳出血+くも膜下出血)の入院患者数は、感染拡大期は入減少し、安定期には増加していた。
- 2020年12月末時点で、人口100万人当たりのCOVID19感染者数が2300人以上の地域(北海道,東京,神奈川,大阪,沖縄)では有意に減少しており、感染拡大期の入院数減少は感染者数が多い地域で顕著であった。
- COVID19感染拡大に対する感染対策と行動変容が、感染者の多い地域において脳卒中発症者数の減少に関与した可能性がある。

厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
 「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」

COVID-19の急性期脳卒中診療への影響調査

2019年の同月における入院患者数からの増減率



厚労科研「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」班 2022年速報（2022/3/27現在）

Covid-19診療体制

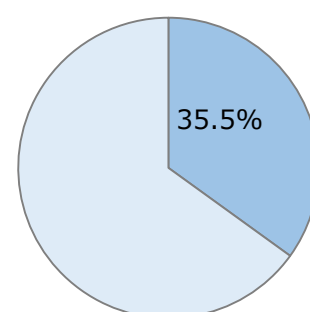
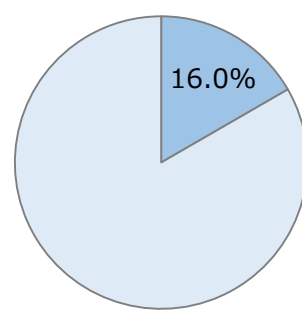
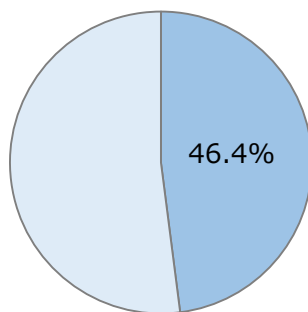
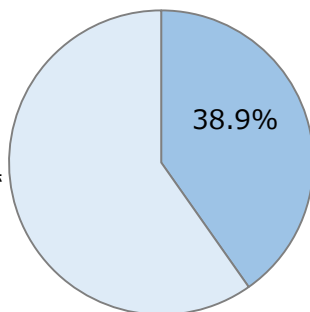
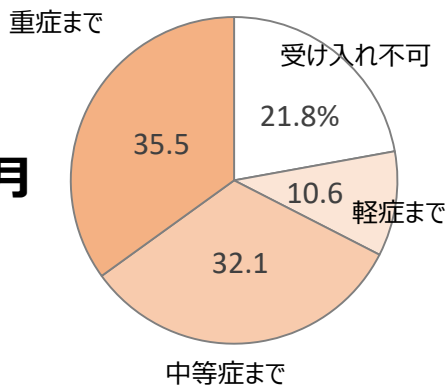
脳卒中救急受け入れ制限をした日がある

脳卒中救急搬送を断ったことがある

脳卒中救急を受け入れられず転送したことがある

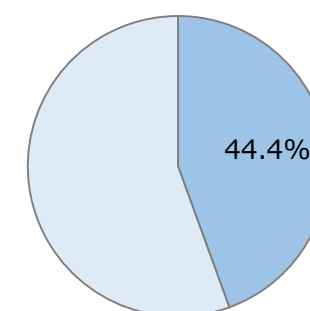
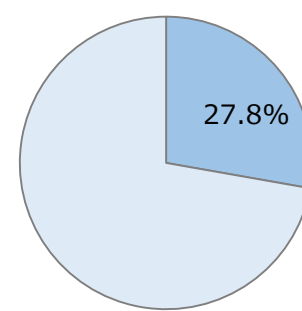
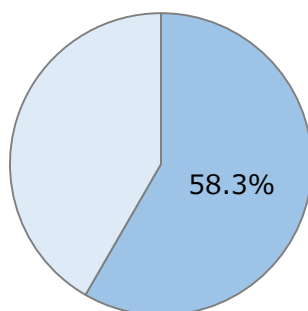
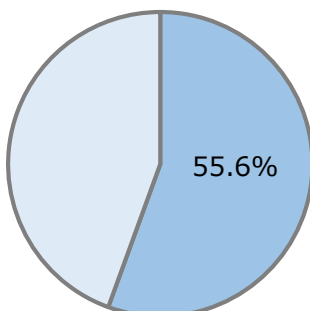
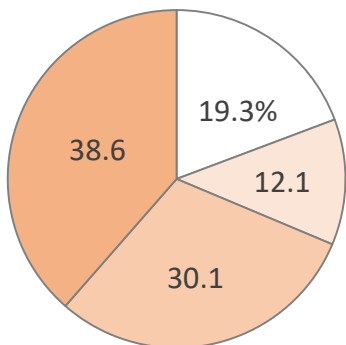
脳卒中診療従事者にCovid-19感染または濃厚接触で勤務停止がある

1月



1施設あたりCovid-19入院数
中央値19 (0-332), 293施設

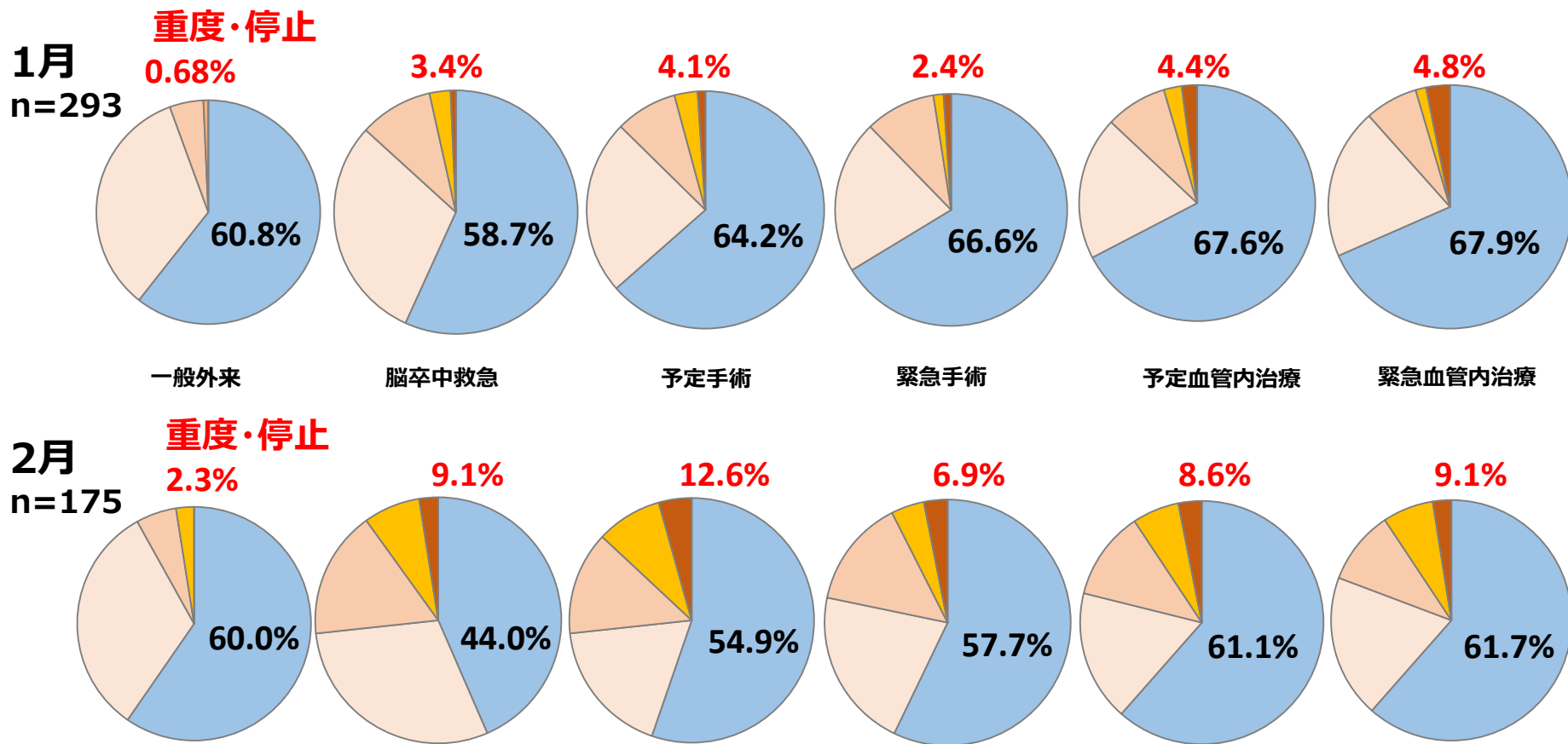
2月



1施設あたりCovid-19入院数
中央値35 (0-311), 166施設

※一次脳卒中センター961施設へ回答依頼し、回答のあった543施設(56.5%)のアンケート結果

2019年と比較



※一次脳卒中センターの施設へ回答依頼したアンケート結果

少しでも診療に影響があった場合は、A同等 の回答にはならなかった点に留意が必要

A同等に、これまでよりも多くの診療を行ったところも含まれる

また、重度・停止が「診療が行われていない」ことを意味するものではない点にも留意が必要